

## 廣瀬薫（東京大学医学部附属病院）

東大研修医2年目の廣瀬薫です。お世話になっております。3ヶ月と長期に渡る研修も終わりを迎え、そろそろ皆さんも廣瀬の顔は見飽きてきたころではないかと思えます。

この場を借りて3ヶ月を振り返りたいと思います。

最初の1ヶ月は初めて東大以外の病院に出たこともあり、大きな違いに戸惑いました。

上級医、コメディカル、治療方針、患者層など何もかも東大とは違っていました。

まず周りと仲良くなることから始めて、徐々にこの地域の医療を知っていきました。

専門医がない病院ではどこまでを診てどこからは転院するのか、身寄りのいない人にはどこまで介入するのが良いのか、胃瘻の適応とはどこにあるのか、いろいろと考えました。

また初めて自治医大の先生と関わり、ジェネラリストとしての能力の高さに驚きました。

専門医である前に内科医であるという意識を感じました。

2-3ヶ月目は病院にも慣れて、看護師さんにも顔を覚えていただき診療がスムーズになりましたが、看護師さんの勤務の大変さも見えてきました。

その中で、医師と看護師、お互いに少しの気遣いをするのが良いチーム医療に繋がるという発見がありました。

指導医の北村先生は基本的に何でも任せてくださったので、モチベーションを高く保って研修をすることが出来ました。

肝心なところは見ていただき、失敗も広い心で受け止めてくださったので、常に安心感がありました。

4月からは九州の小倉記念病院という病院で循環器内科の後期研修医として2-3年修行します。3年目から指導医はいないため若干の不安はありますが、あまり気負わずマイペースにいこうと思います。

初期研修最後の期間を紀南病院で過ごすことが出来て本当に良かったです。ありがとうございました！



## 松波山水（三重大学医学部附属病院）



12月から研修中の三重大学病院研修医の松波山水です。

4ヶ月目の3月を終え、ついに4月からは研修医2年目になります。

紀南病院で研修を行う研修医は基本的に2年目ばかりなので、

いつも先輩研修医に教えていただいていた。

今までは教えてもらうことばかりでしたが、今後は後輩にも教えていかなければいけません。

少し不安ではありますが、紀南病院で学んだことを自信にして研修医2年目としての

1年間を頑張っていきます。

4月で紀南病院の研修が終わってしまうのは寂しさもありますが、最後の1ヶ月今まで通りに頑張りますので宜しくお願い致します。

原稿が締め切りに間に合わなかった

東京大学医学部附属病院

前野 竜平 先生

研修期間（H28.3.1～3.29）

